

〈題材名〉 (抜い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
くにっぽんのうた みんなのうた< 「春の小川」(共通教材) (4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
楽ふとドレミ (4~5月)	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) ハ長調の音階で表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音階や鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	ハ長調の音階で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○		

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けるとともに、ハ長調の音階で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	キラキラおひさま	○〈楽ふのお話〉のページで、音符や記号、五線などについて知り、「キラキラおひさま」を階名唱する。 ○「キラキラおひさま」を輪唱・輪奏する。	【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。 【主-①】 ハ長調の音階で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
曲想と音階や歌詞との関わりに関心するとともに、音の重なりや音階が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ドレミの歌	○「ドレミの歌」の主旋律を歌詞で歌う。 ○「ドレミの歌」を二部合唱する。	【知-①】 「ドレミの歌」の曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに関心している。 【思-①】 「ドレミの歌」の音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

〈コーナー名〉 (抜い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「茶つみ」(共通教材) (5月)	(1) 旋律のもつリズムの反復や、休符の効果、曲想と歌詞の内容との関わりに関心するとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに関心している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律のもつリズムの反復を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、リズム、反復などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

〈コーナー名〉 (抜い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音 楽 づ く り	鑑賞
〈こんにちは リコーダー〉 (6月)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。			○	○		
	(2) リコーダーの音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いたりしている。		○		○
(3) リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リコーダーで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音 楽 づ く り	鑑賞
ひびきのある歌声 (7月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			○
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			

	(3) 旋律の特徴を生かした表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌声や合唱の響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			○
--	---	---------------	---	---	--	--	---

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けるとともに、旋律、音色、変化などが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	この山光る ◎ホルディリディア	○「この山光る」を、ふさわしい歌声を探して歌う。 ○「ホルディリディア」を、高音を歌う声に注目して聴く。 ○「この山光る」の旋律の特徴について考え、生かして歌う。	【知-①】 「この山光る」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主-①】 旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 「この山光る」の旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。

〈コーナー名〉 (抜い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	づ く り 音 楽	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
〈音のスケッチ〉 いろいろな声で 表げんして遊ぼう (7月)	(1) いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声の出し方を選択したり声を組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声の出し方を選択したり声を組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
		思考・判断・表現	声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	

	(3) いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○	
--	---	---------------	--	--	--	--	---	--

〈コーナー名〉 (抜い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「うさぎ」(共通教材) (9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	(2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(3) 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
			季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
せんりつと音色 (10月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンやチェロの演奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
曲想と、旋律や音色との関わりに気付くとともに、楽器の音色、旋律の反復と変化が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ユモレスク ◎白鳥	○「ユモレスク」の旋律の変化や再現に気を付けて、体を動かしながら聴く。 ○「ユモレスク」の曲全体を味わって聴く。 ○「白鳥」を全曲通して体を動かしながら聴く。 ○「白鳥」の曲全体を味わって聴く。	【主-①】 旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 バイオリンの音色、「ユモレスク」の旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【知-①】 「白鳥」の曲想と旋律やチェロの音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-②】 チェロの音色、「白鳥」の旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (扱い月)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
曲に合った歌い方 (10～11月)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。		○	○			
	(2) 音色、フレーズ、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色、フレーズ、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
曲想とフレーズや、歌詞の内容との関わりに気付くとともに、声を合わせて歌う技能や、楽器を演奏する技能を身に付ける。	森の子もり歌	○「森の子もり歌」の曲想を感じ取り、旋律の特徴を捉え、歌詞の表す情景を思い浮かべて歌う。 ○「森の子もり歌」を合唱奏する。	【知-①】 「森の子もり歌」の曲想と、フレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【思-①】 「森の子もり歌」の音色、フレーズ、反復や変化などを聴き取り、それらの動きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意思をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、「森の子もり歌」を声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。 【主-①】 「森の子もり歌」の曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
日本と世界の音楽 (12月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり、体を動かしたり、演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり楽器を演奏したり体を動かしたりする技能を身に付けている。		○	○			
	(2) 旋律やリズム、拍、速度、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律やリズム、拍、速度、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏したりするかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○			
(3) 日本や世界の歌や音楽を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本や諸外国の遊び歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。					○

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、旋律やリズム、拍、速度などが生み出すよさや面白さを感じ取り、曲のよさを見いだして聴く。	◎日本や世界の子どもの歌 十五夜さんのもちつき 陽気なかじや	○「十五夜さんのもちつき」と「キバパーキ パパ」を聴き、「十五夜さんのもちつき」を手合わせして遊ぶ。 ○「あつい豆がゆ」「半月」「陽気なかじや」を聴き、それぞれの特徴を感じ取る。 ○「陽気なかじや」を手合わせして遊ぶ。 ○「日本や世界の子どもの歌」を聴き、それぞれの曲の共通点や違いを感じ取る。	【知・①】 「十五夜さんのもちつき」の曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主・①】 日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技・①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり体を動かしたりする技能を身に付けている。 【思・①】 「陽気なかじや」や他の曲の旋律やリズム、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。
曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気づき、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする。	メロンの気持ち	○「メロンの気持ち」を聴き、この曲に呼びかけとこたえや、音の重なりなどの仕組みがあることを知る。 ○伴奏に合わせて歌ったり、旋律楽器や打楽器を演奏したりして、合いの手や音の重なりのある演奏をする。	【技・②】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり楽器を演奏したりする技能を身に付けている。 【知・②】 曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【思・②】 「メロンの気持ち」の曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図を持っている。

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
パートの役わり (1月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。	○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○	

	(2) 呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		○
	(3) 曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、アメリカ民謡や合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○		

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
曲想と声部の役割などの関わりに気付くとともに、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	せいじゃの行進 ◎せいじゃの行進	○鑑賞曲「せいじゃの行進」を体を動かしながら、楽器の音やリズムに注意して聴く。 ○「せいじゃの行進」の主旋律と副次的旋律のパートを楽器で演奏する。 ○「せいじゃの行進」を、パートの関わり合いや役割に気付いて合奏する。	【主-①】 鑑賞曲「せいじゃの行進」の曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【知-①】 「せいじゃの行進」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 「せいじゃの行進」の呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音楽のききどころ (2月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○

	(2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

題材名 (扱い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
くっぽんのうた みんなのうた 「ふじ山」(共通教材) (2月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
音色、旋律、反復、変化などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎組曲「アルルの女」から	○「アルルの女」から「メヌエット」を、楽器の音色や関わり合い、旋律の変化に気付いて聴く。 ○「メヌエット」のよいところを捉えて聴く。 ○「ファランドール」のよいところを捉え、曲全体を味わって聴く。	【主・①】 楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知・①】 「メヌエット」の曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思・①】 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
思い合った表げん (2月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○	○			
	(2) 旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
(3) 声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	声部の役割を意識して演奏することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
旋律やリズム、音の重なりなどが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かしながら音楽活動を楽しむ。	パフ	○「パフ」を情景や気持ちを想像しながら歌う。 ○グループに分かれ、担当するパートを決めて練習する。 ○グループごとに発表し、聴き合う。 ○グループごとにリレー演奏する。	【知-①】 「パフ」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 「パフ」の旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【主-①】 声部の役割を意識して「パフ」を演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 音のひびきや組み合わせを楽しもう (3月)	(1) 打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。			○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	(2) 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。			○	
(3) 音の響きや組合せを生かして表現することに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組む、様々な打楽器の音色に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音の響きや組合せを生かして表現することに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組もうとしている。			○		